会 議 録

会議名称	平成29年度 第2回加古川市スポーツ推進審議会
開催日時	平成29年9月13日(水) 午後3時30分から午後5時00分まで
開催場所	加古川市立勤労会館101会議室
出席者	<p><委員> 高見会長、伊藤委員、小林委員、戎木委員、樽本委員、松野委員、難波委員</p> <p><市> 大西部長、井部部長、野村参事、塩谷課長、川上副課長、小口係長</p>
会議次第	<p>開 会</p> <p>1 会長あいさつ</p> <p>2 教育長あいさつ</p> <p>3 審議事項</p> <p>(1) 加古川市スポーツ推進計画の策定について</p> <p>①前回の確認について</p> <p>②基本方針及び施策一覧について</p> <p>③具体的な施策内容について</p> <p>(2) 今後の加古川市スポーツ推進審議会のスケジュールについて</p> <p>(3) その他</p> <p>閉 会</p>

審議内容（発言者、発言内容、審議経過等）	
開 会	
1 会長あいさつ	会長あいさつ
2 教育長あいさつ	教育長あいさつ
3 審議事項 (事務局)	<p>(1) 加古川市スポーツ推進計画の策定について</p> <p>①前回の確認について</p> <p>②基本方針及び施策一覧について</p> <p>③具体的な施策内容について</p> <p><事務局説明></p>
(会長)	基本方針1. スポーツ参画人口の拡大の「参画」とはどのような意味を含めたものか。

(事務局)	実際にスポーツをする人だけではなく、スポーツをみる人、ささえる人やスポーツに関心のない人、したくてもできなかった人など全てを含めた意味としている。
(会長)	1. スポーツ参画人口の拡大 (2) ライフステージに応じたスポーツの推進にかかる施策1で、ビジネスパーソンという言葉が使われているが、働き盛りの方を狙ったものという認識でよいのか。
(事務局)	国の第2期スポーツ基本計画にも使われており、昨年度の市民調査結果においても、継続してスポーツをする方の割合が低いことから、施策1として挙げている。
(委員)	(1) 子どもの体力向上とスポーツ活動の推進にかかる指標で、新体力テストの値はないのか。
(事務局)	施策目標にて、「子どもがスポーツと触れ合う機会」という文言を入れており、触れ合うという意味を考え、学校以外でのスポーツ実施率を指標としている。新体力テストを指標とするかどうか意見をいただきたい。
(委員)	施策に体力向上という言葉がある限りは、それに見合う指標がないと整合性が取れないと考える。
(事務局)	子どものスポーツ実施率と新体力テストもどちらも指標として扱うよう検討する。
(委員)	2. スポーツを通じた共生社会の実現 (2) 健康・体力づくり事業の推進にかかる具体的施策として、②散歩・ウォーキングの推進が挙げられているが、現在健康体操も様々な場所で実施されているので、追加してほしい。
(委員)	異議なし。
(会長)	健常者と障がい者のスポーツによるふれ合い等は何か考えているのか。
(事務局)	そういう方向に進んでいきたいとは考えているが、具体的なことまではまだ検討していない。

(委員)	一昨年、スポーツ推進委員と障がい者の方でスポーツをしたが、一般の健常者と一緒にできる企画を考えるという点では難しい。
(会長)	基本方針で共生社会と示すのであれば、シッティングバレーボールを健常者の方と障がい者の方でチームを作って実施するなどの機会もあればと考える。
(委員)	スポーツ推進委員会としては、シッティングバレーボールとフライングディスクの取り組みを始めたが、イベントをしても参加者は健常者の方ばかりになってしまう。
(事務局)	市の組織体制としても、今後も障がい者支援課と連携を図って取り組みたいと考えている。
(会長)	この推進計画は10年計画なので、ノーマライゼーションといった柱を持ち、行政も市民も意識して動いていくことが大事だと考える。施策(1)障がい者スポーツの振興にかかる具体的施策に、「ノーマライゼーションの推進」を追加してはどうか。
(委員)	異議なし。
(会長)	(1)障がい者スポーツの振興について、指標は障がい者のスポーツ実施率ではなく、イベント実施数でよいのか。
(事務局)	国が調査をした値ならあるが、加古川市としては調査をしていないため、現状値はない。国の現状値だけでも指標として挙げた方がよいか。
(会長)	スポーツをする機会を増やすという施策であれば、イベントの実施回数のみで良いと考える。
(委員)	3. スポーツ環境の充実 (1)身近に利用できる「場所」の確保にかかる具体的施策「①スポーツ施設の整備」についての文言で、「整備」より「充実」の方がよいのではないか。
(委員)	異議なし。
(会長)	(2)観戦スポーツの推進について、観戦というとプロスポーツを思い

	<p>浮かべるが、少年野球のスポーツ観戦などを保護者が観るのも観戦に入るか。「身近なスポーツ観戦」の文言も含めたほうが良いのでは。</p>
(事務局)	<p>具体的な施策に、「身近なスポーツ観戦の推進」を追加する。</p>
(会長)	<p>(5) 総合型地域スポーツクラブの充実という点において、指標である加入している割合についてどのように思うか。</p>
(委員)	<p>様々な取り組みを行っているが、加入者が増えないのが現実である。スポーツクラブの取り組みについて、もっと次期計画に盛り込んでほしい。</p>
(事務局)	<p>スポーツクラブについて、全く知らないという割合も年々増加しているので、その部分についても大きな課題だと認識している。</p>
(委員)	<p>スポーツクラブ加入者の年齢層は、どのくらいなのか。</p>
(委員)	<p>平均年齢は、男性 31.2 歳、女性が 40.6 歳、男女で合わせて 35 歳である。しかし、平均年齢は 35 歳となっているが、現実には子どもと高齢者の加入がほとんどのため、このような平均年齢となっている。小学生でスポーツクラブに加入していても、中学生になると部活に入部し、スポーツクラブを辞めてしまう子どもが多い。</p>
(委員)	<p>今後は中学校の運動部活動も変化し、指導を地域のスポーツクラブへ依頼するようになると思う。具体的施策に、「運動部活動への協力体制」を追加しても良いと考える。</p>
(委員)	<p>異議なし。</p>
(会長)	<p>スポーツ推進委員の存在はとても大きいと考えるが、施策には記載はない。施策目標に、「スポーツボランティアや指導者の増加をめざす」とあるが、スポーツボランティアを育てたり、新しいスポーツ推進委員のあり方を模索していく必要があるのではないか。</p>
(委員)	<p>実際、スポーツ推進委員の認知度も低い。</p>
(会長)	<p>今後、スポーツ推進委員の活動を続けようと思うと、スポーツ推進委員の存在を市民の皆さんに知ってもらうことは大変重要であり、スポーツ推進委員のモチベーションにも繋がると考える。</p>

(委員)	2. スポーツを通じた共生社会の実現 (2) 健康・体力づくり事業の推進にかかる具体的施策にスポーツ推進委員の関係を追加してはどうか。
(会長)	文言は、「スポーツ推進委員の活用」はどうか。
(委員)	異議なし。
(事務局)	(2) 今後の加古川市スポーツ推進審議会のスケジュールについて <事務局説明>
閉 会	